

## 留学報告書

## オーストリア・ウィーン大学

学部学科・研究科専攻	文化社会学部 ヨーロッパ・アメリカ学科		留学時学年	3年
留学先	国	オーストリア	大学/機関	ウィーン大学
期間	2025年10月6日 ~ 2026年1月26日			
	中期		計4ヶ月	

## [1] 参加したコースの時間数と時間割

- ・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：ドイツ語、心理学（個人申込み）

## 【時間割】

時間	月	火	水	木	金	土	日
9時~11時35分			○		○	Free	Free
14時40分~17時15分	○	○	○	○	○	Free	Free

## [2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

16名(ウクライナ 6名、アルバニア 1名、ベネズエラ 1名、アメリカ1名、アイルランド1名、トルコ1名、フランス 1名 スウェーデン1名、中国 1名、イラン 1名 日本 1名)、 Ines Birkhan、対面、Netzwerk neu A2~B2

## [3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

週末は主に、授業などで出会った友人達と、昼は美術館やカフェに、夜はオペラやバレエに出掛けていました。長期の休みには、ウィーン以外の都市へ旅行したりもしました。

## [4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

大学図書館、カフェ、美術館、オペラハウス

## [5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋 1人で使用

様子：キッチンやシャワー、トイレやベッドなどなど一人で生活するには必要なものがしっかり備えられていました。キッチンに関しては、共同スペースの大きなキッチンもあり、そこには大きなオーブンやフライパンもあったので、匂いがきついものやパーティー用のお菓子を準備する際に利用していました。

## [6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

楽しかったこと：特に、オーケストラの生演奏を聴きながら、ワルツを楽しむ Ball が個人的にいちばんの思い出になりました。人生でドレスを着て着飾ることはないと思っていたので誘ってくれた友人達に感謝です。そこで出会えた新たな友人や、主催が大使館の方やウィーンフィルハーモニーだったため、多くの関係者の方々とお話しさせていただき、将来のことや経営のことなど多くのことを学ばせていただくお話しもできました。

苦労したこと：勉強した言語がドイツ語であったため、厳かにしていた英語に日常生活で苦労しました。ドイツ語を話す方とはある程度話すことができましたが、その友人の他国の方とは英語で話していたため、苦労しました。交流関係を広げる上で改めて英語の重要性を感じました。

## [7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上：全体的に留学前に比べ、能力は向上したように感じます。ただし、読むこと、聞くこと、に関しては問題なく進めたのですが、話す、書くについては早さに苦労しました。
- 2) 専門知識の向上：心理学を個人的に受講していたため、その知識と、オーストリアの文化についての知識を主に広めることができました。
- 3) 自己成長など 主に自身の価値観について広められたこと。自分が何が好きで何が嫌いか、自分が他国の方と話していくことでより明確になり、自身のやりたいことが明確になったように感じます。これを糧に、就職活動に繋げていきたいと感じました。

## [8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

とにかくいろんな人と話すこと、そして、調べて、行動して、楽しむことが留学の成功につながると思います！

自身の留学がより良いものになるよう全力を尽くしてください！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳		金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ 旅行会社に支払った経費(授業料、 フライト代他)	
2	中期・長期留学者のみ フライト代	180000
3	中期・長期留学者のみ 滞在費(寮費など)	740310
4	教材費	8420
5	保険代	200000
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	約 400000
7	個人的な買い物	約 200000
8	その他( )	
9	留学に関する費用(1 から 8 の合計)	約 1728730
10	受給した奨学金(奨学金名: 国際交流奨学 金)	90000
11	留学に関する費用総額(上記 9 から 10 を引いた額)	1638730

